

**2008年3月11日、「永田町二丁目計画」着工  
東急ホテルズのフラッグシップホテル「ザ・キャピトルホテル 東急」  
を核とした高層複合ビルが、2010年秋(予定)に開業します**

東京急行電鉄株式会社  
株式会社東急ホテルズ

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）と東急ホテルズ（本社：東京都渋谷区、社長：梅原一剛）は、2008年3月11日、「キャピトル東急ホテル」跡地（東京都千代田区永田町二丁目、2006年11月30日営業終了）に、ラグジュアリーホテル、オフィスなどからなる、地上29階、地下4階の高層複合ビルを建設する「永田町二丁目計画」に、着工いたします。開業は、2010年秋の予定です。

新しいビルは、地下鉄4線が乗り入れる国会議事堂前駅・溜池山王駅直結という利便性抜群の地に建ち、隣接する日枝神社の豊かな緑と一体化した庭園や散策路を設けるなど、都心の一等地にありながらも周辺の豊かな自然を取り入れた設計が特徴です。デザイナー・アキテクトに日本を代表する建築家の隈研吾氏、ランドスケープ・アキテクトには宮城俊作氏を起用し、モダンデザインをベースとしながら和の本質を追求します。

また、北大路魯山人ゆかりの高級料亭として知られた「星岡茶寮」に始まり、「東京ヒルトンホテル」、「キャピトル東急ホテル」へと培われてきた歴史と伝統、おもてなしの心を受け継ぎ、ホスピタリティあふれる複合ビルを目指します。

上層階には、東急ホテルズのフラッグシップとなるラグジュアリーホテル「ザ・キャピトルホテル 東急」が入居します。「ザ・キャピトルホテル 東急」は、客室数を約250室と予定しており、全ての客室を45㎡以上とすることにより、ゆったりと寛げる空間を提供します。その他に、多彩なレストラン・バー、宴会場、スパ&フィットネスを設ける予定です。

（「ザ・キャピトルホテル 東急」の詳細は、別紙2をご参照ください）

中層階のオフィス部分では、目の前に豊かな自然を感じられる眺望に加え、高いセキュリティ性を確保するなど、快適性と機能性を兼ね備えたビジネス環境を提供します。

このほか、ビル内には、ラグジュアリーホテルと連携したサービスが受けられる賃貸住宅も計画しています。

このように、新しいビルでは、高いホスピタリティを持つラグジュアリーホテルとビル内の各用途が相互にシナジーを発揮し、上質で洗練されたおもてなしでお客さまをお迎えします。

本計画は、国際都市・東京の中心にあって、日枝神社境内の杜の緑を保全した開発を進める、東京都都市計画「永田町二丁目地区地区計画」の一環であり、周辺環境との調和を図った施設を目指します。新しいビルの完成をうけて、都市計画告示以来、約17年におよぶ当該地区の再開発が完了する予定です。

東急グループは本計画のほか、渋谷、二子玉川、たまプラーザなどで大型開発プロジェクトを推進中です。これらの計画に東急グループの総力を挙げて取り組み、更なる飛躍を図ります。

「永田町二丁目計画」の概要は、別紙1の通りです。

(別紙1)

「永田町二丁目計画」概要

- ・所在 東京都千代田区永田町二丁目57-2他(地番)
- ・敷地面積 約7,900m<sup>2</sup>
- ・建物規模 地上29階、地下4階建
- ・延床面積 約88,000m<sup>2</sup>
- ・用途別面積  
ホテル及び関連施設 :約38,000m<sup>2</sup>  
事務所 :約31,000m<sup>2</sup>  
共同住宅 :約3,000m<sup>2</sup>  
駐車場他 :約16,000m<sup>2</sup>
- ・設計 永田町二丁目計画東急設計コンサルタント・  
観光企画設計社設計共同事業体
- ・デザイナー・アーキテクト  
隈研吾建築都市設計事務所
- ・施工 清水建設株式会社
- ・開業予定 2010年秋

フロア構成

- 18 - 29F ホテル客室
- 16 - 17F 住宅
- 14 - 15F ホテル及び関連施設等
- 4 - 13F オフィス等
- 1 - 3F ホテル及び関連施設等
- B1F オフィスエントランス等
- B2F 地下鉄接続口、駐車場等
- B3F 駐車場等

隈研吾(くま・けんご)氏プロフィール

1954年横浜市出身。  
1979年東京大学建築学科大学院修了。  
コロンビア大学客員研究員を経て、  
隈研吾建築都市設計事務所主宰。  
2001年より、慶應義塾大学理工学部教授。  
1997年、「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」で  
日本建築学会賞受賞、同年「水/ガラス」で  
アメリカ建築家協会ベネディクタス賞受賞。  
2002年、「那珂川町馬頭広重美術館」をはじめとする  
木の建築で、フィンランドよりスピリット・オブ・ネイチャー  
国際木の建築賞受賞。  
近作に、サントリー美術館。  
著書に、「負ける建築」(岩波書店)、  
「新・建築入門」(ちくま新書)など。

宮城俊作(みやぎ・しゅんさく)氏プロフィール

1957年京都府出身。  
1982年京都大学大学院修士課程修了。  
1986年ハーバード大学デザイン学部大学院修了。  
コロラド州立大学講師、千葉大学緑地環境学科助教授を  
経て、2001年より、奈良女子大学住環境学科教授。  
1992年より、設計組織PLACEMEDIA/パートナー。  
主な作品に、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、  
グランドハイアット東京、川口並木元町公園、  
ザ・ペニンシュラ東京のランドスケープデザインなど。  
著書に、「ランドスケープデザインの視座」(学芸出版社)、  
「環境デザインの試行」(武蔵野大学出版会)など。

イメージパース



(別紙2)

### 「ザ・キャピトルホテル 東急」概要

東急ホテルズ(本社:東京都渋谷区、社長:梅原一剛)は、2006年11月30日に惜しまれつつ営業を終了した「キャピトル東急ホテル」跡地に、フラッグシップとなるラグジュアリーホテルを出店します。開業は、2010年秋を予定しています。

「ザ・キャピトルホテル 東急」の名称で誕生するこのホテルは、数多くの賓客に愛された「キャピトル」というブランドに、ゆとりある居住空間と高いセキュリティを誇る最新の建物を得て、東京を代表するホテルのひとつとなります。

都心の利便性と閑静な落ち着きを兼ね備える恵まれた立地にあり、「キャピトル東急ホテル」で培われたおもてなしの心を受け継ぐこのホテルは、世界中のすべてのお客様にとって、きめこまやかな気配りに満ちた日本のホスピタリティを体感していただける場所となるでしょう。

約250室の客室は建物高層部の18階から29階に位置し、全ての客室を45㎡以上と予定しています。60㎡前後の広さを有し、2方向からの豊かな採光と眺望が楽しめる客室や、スイートも設ける予定です。

地上階にはホテル専用のメインエントランスを構え、庭園を擁するロビーとあたたかいホスピタリティでご到着のお客様をお迎えします。その他に、庭園を眺めながらお食事を楽しめる複数のレストラン・バーや気品ある宴会場、スパ&フィットネス等をご用意します。

ラグジュアリーホテルのデザイン実績が豊富なインテリアデザイナーを起用し、都会の喧騒を忘れてゆったりと寛げる上質な空間を提供します。

東急ホテルズは日本全国に展開するホテルチェーンです。2007年6月には「パンパシフィック横浜ベイホテル 東急」(神奈川県横浜市)が加わり、その数は全国に52ホテルとなりました。今般、フラッグシップホテルとして「ザ・キャピトルホテル 東急」を出店することにより、お客様に一層ご満足いただける、さらに魅力あるチェーンに成長してまいります。

(別紙3)

永田町二丁目計画位置図

